

□ ■ ポートマーケットは来年3月に閉店、新たな利用検討へ



平成25年3月に民間の冷蔵倉庫として使われていた建物を改修して始めた「よこすかポートマーケット」について、来年3月末で閉店することが決まりました。当初、市の計画では4年間で黒字化することを見込んでおりましたが、累積赤字が約4億円に上るなど、事業の撤退をする判断になりました。ポートマーケットは三笠公園、猿島への渡航する発着所の近くにあり、上地市長からは「観光拠点としての役割を果たすものを設置したい」という意向は示されたものの、具体的な計画はなく、白紙の状態です。

来店者数としては年間30万人以上が訪れていたというデータもあることや、三笠公園、猿島への観光客は増加しているから、失敗に至った理由をしっかりと検証して、この先に行われるであろう次の事業に生かす必要があると考えます。

□ ■ 中央子ども園（仮）の整備はポートマーケット駐車場に



上町保育園、鶴が丘保育園は老朽化が著しく、両施設への対応策として「中央子ども園（仮称）」の開設を急ぎたいとしてきました。市は、よこすかポートマーケットの閉店を決定すると、隣接する5,000平方メートルある駐車場の敷地面積のうち1,300平方メートルを中央子ども園の建設用地とする発表がありました。この中央子ども園では一時預かりや病児、病後児の保育も出来る環境を備えるようにする計画になっています。

横須賀中央駅からは大人の足で歩いて10～15分程度ですが、子どもを連れてとなるともう少し時間がかかると思います。立地としては車での送り迎えなどを考えれば悪くなく、市役所周辺で仕事をしている方たちには便利な場所だと思いますが、それ以外の方法となると園児を預ける場所としては不便さを感じる部分もあります。安心した子育てが出来る環境を整備していくことを考えると、バスなどの交通機関の整備なども併せて検討していく必要があるように思います。

ありがとうよこすか

大野忠之事務所 〒238-0024 横須賀市大矢部3-1-3
TEL：046-838-6571 FAX：046-838-6573 URL：<http://www.ohno-tadayuki.com>



先日の西日本豪雨では多くの犠牲者と大きな被害が出ています。横須賀市はかつて軍港であった広島県呉市、京都府舞鶴市、長崎県佐世保市と本市で相互支援協定を結んでいます。7月11日には呉市からの要請を受け、食糧や飲料水、土のう袋などの支援物資を海上自衛隊に協力をしてもらい送っています。酷暑の中での避難生活や復旧作業など大変な状況が続きますが、1日でも早い復旧、復興と台風などこれから先の悪天候でさらなる被害が出ないことを祈るばかりです。

また、千葉県を震源にした大きな地震などもあり、改めて防災への意識を強く持つと共に、各ご家庭での防災対策、緊急避難場所の確認などもご家族、ご近所の方と話して頂きたいと思っています。

□ ■ 上地市政の初めての新年度予算編成は「スピード感」を重視

3月定例議会では上地市長になって初の予算編成がされました。音楽、芸術、エンターテインメント、スポーツなど市の活性化が期待される部分への予算と給食、ごみ処理施設、福祉事業など市民生活において早い整備と対応が求められる部分などについては「将来を見据えた積極投資」とした予算になっています。一般会計は1,554億円で平成5年度以来の金額となっていますが、市の施設の統廃合や適正化、事務事業の総点検などで支出を改善することで全会計の総予算は3,173億円と前年度予算に対しては17億円の増に留まる内容になりました。新たな事業を増やし、重点的に予算を振り分けながら、見直しをすることでコストの削減をして財政を圧迫しない予算となると考えます。

□ ■ 議員定数の削減へ議論を

横須賀市議会は各会派や議会制度検討会などで議員定数の削減に対する議論を重ねています。2014年にも議員定数の削減についての議論がありましたが、市の状況、同規模の都市との比較や議員報酬の削減などを行い、定数そのものは41名のまま変更を行いませんでした。人口が減少傾向にある中、藤沢市の議員定数が現在36名であることなど、市民の皆様からも色々な意見を頂戴しています。私の所属する自民党は会派として2名の議員定数の削減を提案しています。ベースや自衛隊など基地が多いという日本国内でも特殊な環境にあることを考えると、市議会としての役割を果たしつつ、どうバランスを取っていくのが非常に難しい部分もあると思いますが、今年9月には市議会として一定の考え方と方向性をまとめることになっています。

横須賀市政、大野忠之へのご意見、ご要望などをお寄せください

FAX：046-838-6573 〒238-0024 横須賀市大矢部3-1-3 1階